

岐阜新聞真学塾

出題 蛭雪ゼミナール

岐阜駅前校・築樋拓真



国語を様々な側面からみて、日本語の面白さや深さを知ってもらえればと思います。

問題【国語】

次の下線部を漢字に直しましょう。

- (1) 事件のコウイキ捜査が行われる。
- (2) 馬の耳にネンブツ
- (3) センメンダイをリフォームする。
- (4) シゴゲンキン

豆知識 雑学コラム

ムムム…な漢字

今回は漢字を見ていきましょう。漢字には、例えば、「きへん」であれば、「松」や「杉」のように木に関わる漢字で使われるといった具合に、同じ形を持つ漢字には何らかの共通点が存在します。今回の問題の中には「広」、「仏」、「台」、「私」と字の中に「ム」が入っている漢字がありますが、これらの漢字にはどのような共通点があるのでしょうか。見ていきましょう。

まず、「広」という字について考えていきましょう。「広」はもともと「廣」と書く漢字でした。今でも、この古い「廣」を使って、「廣瀬さん」と苗字で書くこともあるため、見たことあるかと思います。「廣」は「屋根」を表す「广（まだれ）」に、「ou」という読み方を表す「黄」が組み合わさってできた漢字です。この「廣」の「黄」の部分はややこしく、速く書くのに適していません。そこで書きやすいように「黄」を省略して「ム」に変えてできた字が「広」という字になります。確かに「廣」より「広」の方が簡単で書きやすいですね。

同じように「佛」の「弗」を省略して「ム」に変えてできた字が「仏」になります。また、「台」はもともとの「臺」という字からいろいろと簡略化してできた文字です。「広」や「仏」は一部分を変えただけですが、「台」は原形をほとんど留めていないのは興味深いですね。「広」の場合は「廣」、「仏」の場合は「佛」、「台」の場合は「臺」ともともとの形は全く違い、意味や音に共通点はありません。しかし、これらの「ム」の入っている漢字にはもともととても難しい漢字だったものを省略したという、今の漢字ができるまで成り立ちに共通点があるといえます。

さて、最後に残った「私」ですが、実はこの字の「ム」は難しい字の省略ではありません。「禾」の部分が稲を表し、「ム」の部分が小さな囲いを表していて、「稲を囲んで自分のものにする」で「私有」の意味から生まれた漢字です。漢字の中には偶然、同じような見た目になったものもあります。同じ形だから同じ由来だろうと思いきまないに注意しましょう。

他に「ム」が入る漢字にはどのようなものがあるのでしょうか。そしてその文字はどんな成り立ちがあるのか。調べてみましょう。

【解答】 蛭雪ゼミナール (4) 号里院 (3)
外零 (2) 眞字 (1)